

季刊

特集 放射線治療って、どんな治療？

# はまかせ



国家公務員共済組合連合会  
浜の町病院  
日本医療機能評価機構・平成16年認定

2023 第90号  
Apr.



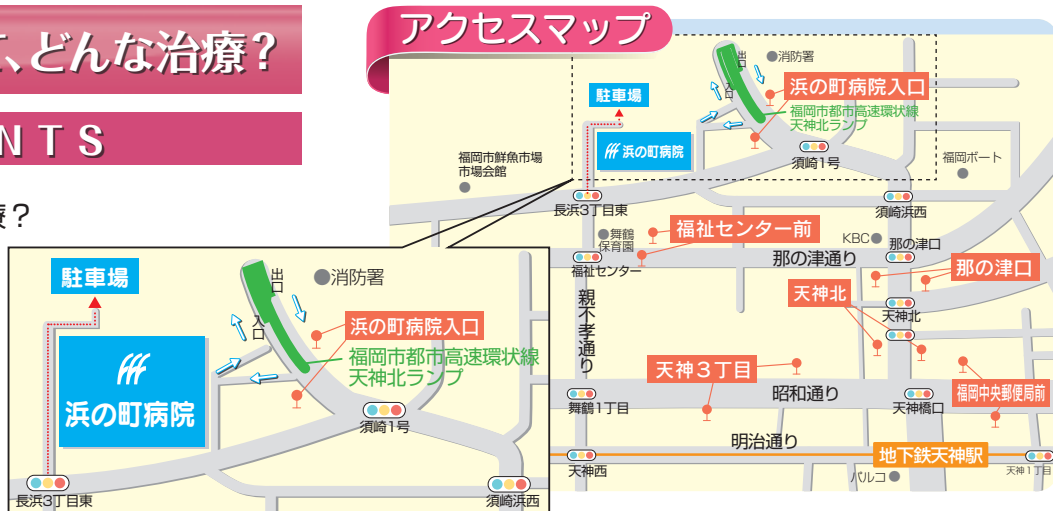
写真 / 放射線治療科 浅井佳央里 場所 / ヴェルツブルグ (ドイツ)

## 特集 放射線治療って、どんな治療？

### CONTENTS

- 放射線治療って、どんな治療？
- 新任部長のご挨拶  
新任医師のご紹介
- 地域連携課長のご挨拶
- 登録医から一言
- 外来診療担当医一覧

### アクセスマップ



交通アクセスはこちら



## 特集

# 「放射線治療って、どんな治療？」



放射線治療科部長 浅井 佳央里

みなさま、はじめまして。放射線治療科の浅井佳央里と申します。2022年4月に浜の町病院に赴任いたしました。今後とも、よろしくお願いいたします。今回表紙に選ばせていただいた写真は、ドイツのヴュルツブルクという都市を訪れた時に撮影したものです。この街のシンボルであるマリエンブルク要塞を、メイン川の河岸から見上げているのですが、メイン川に掛かる石橋の上では、名産のフランケンワインを片手に、地元の方や観光客が散策を楽しんでいる様子もみとれます。観光地としても人気のある、このヴュルツブルグという街は、1895年にレントゲン博士 (Wilhelm Conrad Röntgen) が、世界で初めてX線を発見した地としても知られており、我々放射線科医にとっては馴染みの深い土地でもあります。X線発見の功績により、第1回ノーベル物理学賞も受賞されたレントゲン博士ですが、「科学の発展は万人に寄与すべき」という考えのもと、X線に関する特許は取得せず、個人的な経済的利益も享受しなかったとされています。日本ではX線のことを“レントゲン”と呼ぶことがあり、正式な呼称ではありませんが、この呼称を耳にするとレントゲン博士に対する敬意の気持ちが湧いてきます。X線が発見された翌年の、1896年には“がん”に対して世界で初めての放射線治療が実施されたとされています。それから120年以上の月日の中で、放射線治療は目覚ましい発展を遂げており、現在ではがん治療の3本柱(手術、薬物療法、放射線治療)の一つとなっています。放射線治療には最新の科学技術が応用されており、より効果が高く、より安全な治療を目指して、進化し続けています。当院でも最新の放射線治療を受けていただくことができますので、この機会をお借りして、放射線治療のご紹介をさせていただきたいと思っております。

Q1

放射線治療の“対象となる病気”とそれに対する“具体的な治療”を教えてください。

放射線治療は、高エネルギーの放射線を使って、がん細胞にダメージを与えて壊す治療です。がん細胞の近くにある正常な細胞にも放射線が当たりますが、正常な細

胞は放射線によるダメージを自分で修復する力があるので、細胞が壊されにくいという違いがあります。放射線治療の目的は、大きく以下の3つに分けられます。①放射線治療でがんの治癒を目指す、②手術の前または後に放射線治療を追加して治癒率を上げる、③がんによる症状を和らげる、の3つです。治療の目的によって、対象となる病気は異なりますので、それぞれについて対象となる病気の一部を挙げさせていただきます。

### ①放射線治療でがんの治癒を目指す(根治的放射線治療)

前立腺癌、頭頸部癌、子宮頸癌、肺癌、食道癌、リンパ腫など

### ②手術の前または後に放射線治療を追加して治癒率を上げる(術前/術後放射線治療)

乳癌、頭頸部癌、子宮癌、脳腫瘍、直腸癌など

### ③がんによる症状を和らげる(緩和的放射線治療)

あらゆる“がん”による症状が対象。がんによる痛み、腫瘍が臓器を圧迫することにより出現する症状(消化管が圧迫されて食べられない、神経が圧迫されることによる麻痺など)、がんからの出血、が治療の対象となる主な症状です。

この他の特殊治療として、血液疾患に対して骨髄移植を行う前に実施する、全身放射線照射も当院では多く実施しています。

放射線治療は、「がんが存在する場所」あるいは「がんが存在すると想定される場所」を照射するターゲットとします。あらかじめ設定したターゲットに対して、放射線を複数回に分割して照射する方法が一般的で、根治的放射線治療や術前/術後放射線治療の場合は、通常1-2ヶ月間かけて、「少しずつ」治療を行います。放射線治療の効果を高める目的で、抗がん剤を同時期に組み合わせることもあります。緩和的放射線治療の場合は、必要な放射線の総量が根治的放射線治療の場合の半分以下と少ないので、通常は2週間程度、最短で1日で治療は終了します。一定の条件を満たすがんでは、定位放射線治療(ピンポイント照射)を行うことも可能で

す。小さいターゲットに対して高線量の放射線を短期間(1-2週間程度)で集中して照射することで、安全に高い治療効果を得ることができます。なお、放射線治療は一部の「がんではない病気」にも有効な場合があります。例えば、甲状腺眼症、ケロイド、動静脈奇形、一部の良性腫瘍などが挙げられます。

## Q2 放射線治療には、どの程度の効果があるのでしょうか。

放射線治療は、効果が出てくるのに数週間から数ヶ月程度必要です。また、薬物療法のように繰り返して治療は行いませんので、まずは予定した治療をやりきって、治療終了後に効果を判断する事が一般的です。治療の効果は、「どのようながん」へ、「どのような目的」で、「どのような方法」で放射線治療を行うかによって異なります。例えば、「ステージⅠの肺癌」へ「がんの治療を目的として」、「定位放射線治療(ピンポイント照射)」を行った場合、がんの治癒率は一般的に7-9割程度とされています。また、「T3N0M0のステージの声門癌」へ、「手術をせずにがんを治癒することを目的として」、「抗がん剤を併用した放射線治療」を行った場合、手術をすることなくがんが治癒する可能性は6割程度。「がんによる痛み」に対して、「痛みを和らげることを目的として」、「緩和的放射線治療」を行った場合、痛みが和らぐ可能性は6-9割程度です。期待される治療効果は、患者さん個々の病状によって大きく異なりますので、実際に治療する際には、事前に詳細をご説明します。ただし、初発時の治療においては治療効果の科学的データが存在していることが多いですが、再発時の治療や希少がんにおいては、効果についての明確なデータが存在しないこともあり、その場合は過去の知見や経験を統合して治療効果を予測しています。なお、放射線は照射された部分にのみ、がんを抑える効果があり、放射線が当たっていない部分には効果はありませんので、放射線が当たっていない部分のがんを治療したり、放射線が当たっていない部分から新しい癌が出てくるのを抑える効果は無いとされています。

## Q3 どのような副作用が出ますか？

放射線治療も副作用が出現する事があり、基本的には放射線が照射された部位に出現します。放射線治療中に出てくる副作用と、治療終了後(数ヵ月～数年後)に出てくる副作用に分けられ、放射線治療中に出てくる副作用の多くは一時的な症状のみで回復しますが、治療終了後に出てくる副作用は長引いたり、後遺症となることも

あります。生活の質に関わるような、重たい副作用が出現する可能性は低く(5%未満程度)なるように、放射線を照射する範囲や量を調整しています。照射する部位毎に、出現する可能性がある代表的な副作用を以下に挙げていますが、これら全てが出現するというものではありません。

### 〈頭部〉

倦怠感、嘔気、脱毛、認知機能低下など

### 〈頸部〉

皮膚炎、口内炎、咽頭痛、口腔乾燥、味覚低下、嚥下障害、甲状腺機能低下など

### 〈胸部〉

肺炎、食道炎、骨髄抑制、心機能障害など

### 〈腹部骨盤〉

腸炎、肝障害、腎障害、リンパ浮腫、骨髄抑制、不妊など

なお、全ての部位に共通することですが、放射線自体に発がんリスクがあり、非常に稀ながら5-10年後以降に放射線照射が原因と思われる癌を発症することもあります。

以上のように、放射線治療には副作用を伴う可能性がありますが、予想される頻度や重症度は放射線の治療内容や、抗がん剤を併用するかどうかなどの他の要素とも関連するため、患者さん毎に大きく異なりますし、適切な対応によって回復する副作用も多いです。実際に治療を行う場合は、予定している治療に応じて、どのような副作用が起こりうるか、またその場合の対応についても丁寧にご説明し、共有した上で治療を進めていきます。我々放射線治療医は、副作用の可能性を十分考慮に入れた上で、それよりも放射線治療を行うことで患者さんが得る利益の方が大きいと判断できる場合にしか放射線治療を行いませんので、決して必要以上に不安を持たれず、気になることをなんでも質問していただければと思います。

## Q4 治療の流れを教えてください。

放射線治療科を受診されるきっかけとしては、各患者さんの治療を担当している主治医の先生が、「この患者さんには、放射線治療が良いのではないかと考えて、患者さんに受診を提案していただくことが最も多いです。患者さん自身が、「自分の病気に放射線治療ができないか」と考えられて主治医の先生に相談されて、専門科である放射線治療科を受診していただくこともあります。当科を受診していただくと、まずは放射線治療医が「今のご病気に対して放射線治療がお役に立てるかどうか」の専

専門的判断をします。放射線治療の適応があると判断できれば、放射線治療の具体的な目的、方法、副作用についてご説明します。治療に同意いただけましたら、治療の準備に入ります。具体的には、放射線治療専用のCT画像を撮影します。放射線治療の「設計図」を書くための専用の方法で撮影する必要があるため、他のCT画像で代用することは出来ません。放射線は毎回同じ位置に正確に照射する必要がありますので、皮膚にマジックで位置合わせ用のマーキングを書かせて頂くことがあります。

また、頭などの動きやすい部分には専用の固定具を作成する場合があります（図1）。撮像したCTを放射線治療計画装置に送付して、患者さん毎に最適な照射野を作成します。作成した照射野の物理的

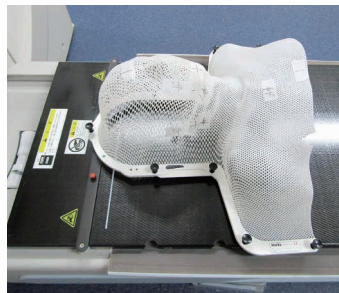


図1

な精度検証が終了すると、治療実施可能となります。CT撮像から治療開始まで数日間必要な事が多いですが、病気の緊急性が高い場合は、CTを撮像した日に治療を開始する事もあります。実際の治療は図2のような部屋で行います。患者さんには、治療台上に仰向けに寝ていただき、放射線治療技師が「治療の設計図」と同じ位置に放射線が当たるように、位置合わせを行います。放射線治療を実施する際には、治療台の上で「動かないこと」が重要で、身体が動いてしまうと、「設計図」通りに放射線が当たらず効果や副作用の面でデメリットがあるばかりでなく、治療台からの落下などの危険もあります。痛みなどの理由で安静を保つことが難しい患者さんでは、事前に鎮痛薬を使って頂くなどの工夫で安全に治療を受けて頂くように努めています。治療台上で安静を保って頂く時間

は、概ね15分程度ですが、実際に放射線が出て治療をしている時間は2-3分程度です。一般的には治療は1日1回実施します。治療は平日毎日行い、土日祝日は治療もお休みです。放射線自体は目に見えませんが、体に当たっても

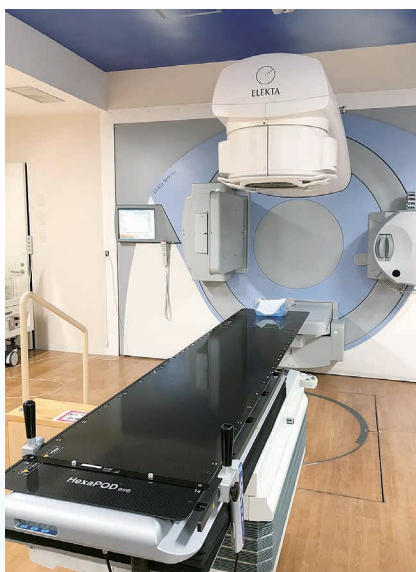


図2

痛くも熱くもありません。外来通院が可能なことも多いですが、抗がん剤を併用する場合や、副作用などで通院治療が辛くなる事が予想される場合では入院での治療をお勧めすることがあります。

## Q5 治療期間中に気を付けておくことはありますか？

外来通院による治療であっても、日々の通院や放射線の影響で疲れを感じる場合もありますので、治療期間中は無理をせず、体を休めるようにしてください。十分に睡眠をとり、バランスの取れた食事を心がけてください。タバコは放射線治療の効果を落とし、副作用を強くしますので、禁煙を強くお勧めしています。口の中やのど、食道に放射線が当たる場合は、食事の際に刺激物（酸っぱいもの、辛いもの、熱いもの）や固形物を食べると痛みが出る事がありますので、症状に応じて刺激物を避けたり、食事を軟らかい形態に変更するなどの工夫が必要になる事があります。放射線が照射されている皮膚は、一時的に熱や化学物質、物理的刺激に対して弱くなります。温泉、サウナ、岩盤浴、海水浴、プールなどは、放射線治療期間と治療終了直後は避けた方が良いでしょう。また、放射線治療の位置合わせ用に、皮膚にマークが書かれている場合は、マークが消えないように入浴などの際に配慮をお願いしています。家族や周囲の人に放射線の影響が及ばないか、心配される方も多いですが、放射線治療のほとんどを占める外部照射では、放射線は照射の時、瞬時に体を通り抜けます。放射線そのものが体に残ることはないため、家族や周囲の人への影響はありません。ただし、小線源治療や内用療法といった特殊な放射線治療では体からわずかな放射線が出る場合がありますので、周囲への影響を避けるために病院からの指導に従って頂く必要があります。

最後まで読んでいただきありがとうございました。放射線治療に対しては怖いイメージを持たれている方も多くと思いますが、実際にはがんに対する治療の中で、最も「身体への負担が少ない」治療であり、ご高齢の方や合併症を抱えていて手術や抗がん剤治療が難しい患者さんにも受けていただけることが多い治療です。今回のお話が、放射線治療に対する心のハードルが少しでも下がるきっかけになれば嬉しいです。実際に放射線治療を受けて頂く場合には、各患者さんの病状に応じた、より詳細なご説明をさせていただきますので、お気軽にご相談いただければと思います。

参考資料) 日本放射線腫瘍学会 <https://www.jastro.or.jp>

## 新任医師のご紹介

新年度に伴い、50名の医師が着任いたしました。地域の先生方と病診・病病連携を図りながら、当院の理念である「病める人の身になって、心のこもった最良の医療を目指します」を念頭に、患者さんに安心と満足度の医療を提供して参る所存です。今後ともご指導の程、宜しくお願い申し上げます。

## 新任部長のご挨拶



麻酔科 特任部長 谷口 省吾

協力して、安全な麻酔管理を行っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

## 採用医師（令和5年4月1日付）

血液内科	栃木 太郎 (H22年卒)	小児科	家守 章子 (H27年卒)	耳鼻咽喉科	土橋 奈々 (H20年卒)
血液内科	久原 千愛 (H31年卒)	外科	河野 博 (H16年卒)	耳鼻咽喉科	次郎丸梨那 (H23年卒)
循環器内科	本田 修浩 (H19年卒)	外科	金城 和寿 (H17年卒)	泌尿器科	近松惣太郎 (H29年卒)
呼吸器内科	池松 祐樹 (H23年卒)	外科	島崎亜希子 (H24年卒)	皮膚科	松本紗也加 (H31年卒)
呼吸器内科	前原ひとみ (R2年卒)	外科	小佐井孝彰 (H29年卒)	形成外科	樋口 智貴 (R3年卒)
消化器内科	清森 亮祐 (H23年卒)	外科	田中 佑一 (R2年卒)	麻酔科	谷口 省吾 (S57年卒)
消化器内科	今村 清孝 (R3年卒)	整形外科	井上 逸人 (H31年卒)	麻酔科	牧野みはや (S63年卒)
肝臓内科	樋口野日斗 (H15年卒)	整形外科	中川 雄介 (R3年卒)	放射線科	久貝美由紀 (H27年卒)
腎臓内科	落合 由佳 (R2年卒)	産婦人科	藏本 和孝 (H25年卒)	放射線科	大塚 徹 (H31年卒)
糖尿病・内分泌内科	北村 雄哉 (H31年卒)	産婦人科	松水 優美 (H29年卒)	放射線科	山崎 修司 (R2年卒)
腫瘍内科	草野 亘 (H31年卒)	産婦人科	塚原 春菜 (R3年卒)	病理診断科	松本 崇雅 (H31年卒)
小児科	川上 晶子 (H26年卒)	眼科	石龍 悠 (H25年卒)		

## 研修医（R5年卒）

衛藤 希 岡澤 慶 小川 祐希 川上 舞子 河野 寛 小柳 杏梨 末原 由悠 田中 祐希  
津留里英子 藤島 光希 前田 直樹 宮上 智生 高木爽太郎 馬島 基則 松木 海都

## 退職医師（令和5年3月31日付）

地域の先生方には、浜の町病院在職中は大変お世話になりました。

血液内科	吉野 明久	小児科	碓 航太	産婦人科	河村 英彦	麻酔科	松岡 友香
循環器内科	萬納寺洋士	小児科	高松 絢	産婦人科	伊與田 彩	麻酔科	住江麻衣子
呼吸器内科	古川 里恵	外科	渡邊 雄介	産婦人科	上杉 翔	麻酔科	牟田 穂波
呼吸器内科	河野 拓	外科	中山 宏道	眼科	糸山 花梨	放射線科	吉満 凜吾
消化器内科	膳所 圭三	外科	古賀 智子	耳鼻咽喉科	加藤 明子	放射線科	黒木 翔太
消化器内科	飯田 篤	外科	佐藤 瑤	耳鼻咽喉科	西平 啓太	病理診断科	赤嶺 舜
腎臓内科	中村 昌平	外科	奈良 司	泌尿器科	永富 裕子		
糖尿病・内分泌内科	岡本佳那子	整形外科	松井 元	皮膚科	石倉 侑		
腫瘍内科	井手 宏二	整形外科	榛澤 空良	形成外科	阿南健太郎		

## 新任のご挨拶



地域医療連携課長  
板井 崇史

地域医療機関の先生方、地域の皆様には日頃より当院の医療連携にご理解ご協力を賜り深く感謝いたします。この度、令和5年4月1日付で地域医療連携課長を拝命いたしました板井崇史と申します。

地域医療連携課では、地域医療機関の先生方との連携（紹介・逆紹介）や開放型病床等の活用、患者様からの相談窓口としての業務や入院支援、地域医療研修会や市民公開講座等による当院からの情報発信等を行うことにより、常に患者様に合った最善の医療を受けることが出来る環境づくりを行う重要な窓口の役割を担っているものと考えております。

今後、当院が地域医療支援病院として十分な役割を果たせるよう地域医療機関の先生方とより円滑で強固な連携と役割分担による地域完結型の医療を推進してまいります。

今後とも、ご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## おだ内科クリニック

院長 小田 俊一

〒814-0111 福岡市城南区茶山1-6-10  
第2茶山ビル

TEL 092-822-1651 FAX 092-822-1652



城南区茶山（地下鉄茶山駅近く、城南高校入口の茶山交差点）で2004年に開業しました。

専門の消化器疾患（消化器病専門医、肝臓専門医、超音波専門医・指導医）だけでなく、内科疾患全般の診療に力をいれ、地域の皆様に信頼される「かかりつけ医」を目指しています。開業当初から浜の町病院には多くの患者様を紹介させてい

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00 ~ 13:00	○	○	○	○	○	○	×
14:30 ~ 18:00	○	○	○	×	○	×	×

休診：木曜午後・土曜午後・日曜・祝日

ただき大変お世話になっています。今後もよろしくお願いいたします。

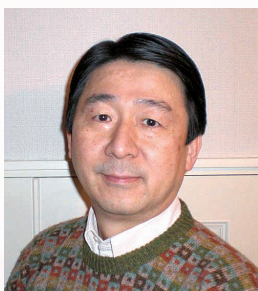


## 今村内科循環器科クリニック

院長 今村 光秀

〒819-0041 福岡市西区拾六町5丁目18-21

TEL 092-892-0088 FAX 092-892-0077



当院は2002年4月に開業し今年で21年目を迎えます。西区拾六町の住宅街にあり、敷地内には1年半前に既にくが脳神経外科（現たぐち脳神経外科）がありました。開業当時は

わからないことも多く空閑先生には色々教えていただきとても助かりました。今までに数多くの患者さんのお世話をさせていただきましたが、実感するのは一開業医としていくら勉強しても知識・技術には限りがあるということです。循環器内科という専門性ゆえ心筋梗塞、心不全、呼吸不全など急

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00 ~ 12:30	○	○	9:00~13:00	○	○	9:00~13:00	×
14:00 ~ 18:00	○	○	×	○	○	×	×

休診：水曜午後・土曜午後・日曜・祝日

を要する患者さんも多く救急搬送を依頼することも度々です。病診連携の助けがなければ多くの患者さんを救えなかったと思います。そういう意味では浜の町病院さんをはじめ、地域の救急対応病院に勤務される先生方にはとても感謝しています。コロナ禍で講演会、勉強会への参加も困難でしたが、できるだけそういう機会を利用させていただき医療の質を高めたいと思っています。





# うれしの耳鼻咽喉科クリニック

院長 嬉野 元喜

〒819-0373 福岡市西区周船寺1-10-10  
TEL 092-805-5151 FAX 092-805-6161



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00 ~ 12:30	○	○	○	○	○	○	×
14:00 ~ 18:00	○	○	○	×	○	×	×

休診：木曜午後・土曜午後・日曜・祝日  
当院の受付時間は午前、午後共に診療時間終了の15分前までです。



2008年6月から福岡市西区周船寺で耳鼻咽喉科を開業しております。

浜の町病院にはご縁があり、1997年から2年間耳鼻咽喉科医師としてお世話になりました。とても働きやすい環境で充実した毎日をおすごしました。

開業してからは、急性疾患で入院治療の必要な患者さんや、手術希望の患者さんを紹介させていただいております。紹介した患者さんの満

足度も高く、大変お世話になっております。今後ともよろしくお願ひいたします。



# 杉野敬子眼科クリニック

院長 杉野 敬子

〒810-0022 福岡市中央区薬院4-1-27  
薬院大通センタービル2F  
TEL 092-533-5361 FAX 092-533-5362



受付時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00 ~ 12:30	○	○	○	○	○	×	×
14:00 ~ 18:00	○	○	○	×	○	×	×

休診：木曜午後・土曜・日曜・祝日



2000年に開業しました医療法人 SMAK 杉野敬子眼科クリニックです。3月に博多駅まで延伸になる地下鉄七隈線薬院大通駅真上のセンタービル2

階にあります。

開業当初より、手術の患者様の紹介等や、他科に通院されている患者様も多くその先生方にも現状のご教授や精密検査など、本当に浜の町

病院の先生方には大変お世話になり感謝しております。今後とも何卒よろしくお願ひいたします。



診療科	時間	専門	月	火	水	木	金
内科 肝臓内科 新患は紹介のみ 膠原病内科 新患は紹介のみ	午前	血液	衛藤徹也	南満里子(第1・3・5) 嶋川卓史(第2・4)	松尾弥生(第1・3・5) 栃木太郎(第2・4)	林正康	栗山拓郎
			—	谷口修一	谷口修一	—	—
		循環器	田中俊江	本田修浩	酒見拓矢	船越祐子	塩見哲也
		消化器	尾石義謙	山縣元	尾石義謙	山縣元	尾石義謙
		肝臓	柴田倫子	具嶋敏文	具嶋敏文	柴田倫子	樋口野日斗
		腎臓	落合由佳	吉田鉄彦	出口孝史	出口孝史	吉田鉄彦
		糖尿病内分泌	北村雄哉	堀内俊博	堀内俊博	北村雄哉	堀内俊博
			—	—	—	—	北村雄哉
		膠原病	河野正太郎	吉澤誠司	河野正太郎	西村直矢	西村直矢
		腫瘍	二尾健太	田中吏佐	草場仁志	田中吏佐	松下祐三
総合診療	大串汀	隅田幸佑	大串汀	隅田幸佑	深町由香子		
感染症	大串汀	隅田幸佑	大串汀	隅田幸佑	深町由香子		
呼吸器センター 新患は紹介のみ	午前	呼吸器内科	前山隆茂	前山隆茂	前山隆茂	麻生達磨	前山隆茂
		麻生達磨	神宮司祐治郎	麻生達磨	池松祐樹	神宮司祐治郎	
呼吸器外科	—	—	松本耕太郎	松本耕太郎	—		
脳神経センター 脳外科(月・水・金)の午後、 脳神経内科の午後は紹介患者のみ ※火・木は手術日のため受付できない場合あり	午前	脳神経内科	松山友美	佐竹真理恵	佐竹真理恵	佐竹真理恵	佐竹真理恵
		—	松山友美	—	松山友美	—	
脳神経外科	松角宏一郎	紹介新患のみ	松角宏一郎	紹介新患のみ	松角宏一郎		
—	村田秀樹	—	林大輔	—	村田秀樹		
小児科 内分泌 第3水曜/循環器 第4木曜(予約)	午前	小児科	家守章子	川上晶子	西村真直	武本環美	家守章子
	午後	小児科	予防接種	予約外来	武本(小児神経)	1ヶ月健診	健診・予防接種
外科 ※木曜日の午後は Dr大城戸への乳腺紹介のみ	午前	消化器・一般	山元啓文	植木隆	河野博	梁井公輔	植木隆
			後藤佳登	山元啓文	佐伯潔	河野博	梁井公輔
	—	佐伯潔	一宮仁	後藤佳登	—		
	乳腺・甲状腺	大城戸政行	金城和寿	当番医	島崎亜希子	当番医	
午後	乳腺	—	—	—	大城戸政行	—	
整形外科 新患は紹介のみ ※月・水・金は受付時間 8:30～10:30	午前	整形外科	紹介新患のみ (当番医)	馬渡太郎	紹介新患のみ (当番医)	馬場省次	馬渡太郎
				末田麗真		河野紘一郎	馬場省次
				萩尾聡		末田麗真	河野紘一郎
				原田知		萩尾聡	原田知
				中川雄介		井上逸人	—
産婦人科 新患は紹介のみ ※受付時間 ※火・木は受付時間 8:30～10:30 産科初診のみ婦人科で受付	午前	産科	塚原春菜	田中久美子	清武早紀	中山紗千	藏本和孝
			応援医師	—	守口文花	—	松水優美
		婦人科	上岡陽亮	前原都	上岡陽亮	江頭活子	上岡陽亮
			江頭活子	藏本和孝	前原都	厚井知穂	江頭活子
			厚井知穂	中山紗千	厚井知穂	守口文花	前原都
			藏本和孝	松水優美	藏本和孝	応援医師	田中久美子
田中久美子	応援医師	中山紗千	—	清武早紀			
—	—	—	—	清武早紀			
眼科	午前	眼科	瀧瑠美子	—	瀧瑠美子	紹介新患のみ	瀧瑠美子
			石龍悠	—	石龍悠	—	石龍悠
耳鼻咽喉科 新患は紹介のみ	午前	耳鼻科	土橋奈々	玉江昭裕	—	玉江昭裕	岡部翠
			次郎丸梨那	近藤玲未		岡部翠	近藤玲未
			—	土橋奈々		土橋奈々	—
			—	次郎丸梨那		次郎丸梨那	—
泌尿器科 ※火・木は受付時間 8:30～10:30	午前	泌尿器科	小林武	紹介新患のみ	近松惣太郎	紹介新患のみ	待鳥亜沙子
皮膚科 新患は紹介のみ	午前	皮膚科	竹内聡	松本紗也加	竹内聡	竹内聡	竹内聡
			松本紗也加	—	松本紗也加	—	松本紗也加
形成外科	午前	形成外科	松本大輔	—	松本大輔	—	当番医
			舟橋ひとみ		舟橋ひとみ		
			原瑠奈		原瑠奈		
放射線科	午前	放射線診断科	角南俊也	角南俊也	角南俊也	角南俊也	角南俊也
		瀬戸口太郎	瀬戸口太郎	瀬戸口太郎	瀬戸口太郎	瀬戸口太郎	
放射線治療外来	浅井佳央里	浅井佳央里	浅井佳央里	浅井佳央里	浅井佳央里		
緩和ケア(完全予約制)	午前	緩和ケア外来	永山淳	永山淳	—	永山淳	永山淳